萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

春彼岸会法要

平成29年3月20日(月・祝)

落語会　大勢の参詣者にお楽しみいただきました

去る3月20日（月）、春分の日に行われた春彼岸会法要では、法要に先立って今年で3回目となる落語会が午後1時から開催されました。地元・大森にお住まいの六代目・春風亭柳朝師匠の熱演による廓噺「明烏」、豊臣方の荒武者7名によるハチャメチャな茶会を扱った「荒茶」の2題に、本堂に詰めかけた大勢の参詣者から大きな笑いが沸き起こりました。

午後2時からは、安本由道ご住職式師のもと、10名の僧侶による彼岸会の法要が厳かに執り行われました。

この日は天気もよく、境内では護持会役員の女性部の方々にご準備いただいた「けんちん汁」が参詣者に振る舞われるとともに、12時から「ミニバラ」の苗100個のプレゼントなども行われました。

大人気のけんちん汁

「ミニバラ」の苗をプレゼント

春風亭柳朝師匠による落語会

東日本大震災の被災地からの便り

萬福寺では、これまで「トン汁」や「甘酒」「芋煮」「けんちん汁」などの振る舞いの際に置いた募金箱に寄せられた浄財を取りまとめ、被災地にお送りしてきました。このほど、宮城県南三陸町の南三陸ホテル観洋様を通じて、この寄付金をお受け取りいただいたそろばん塾「てらこや」育英学院様から次のようなお礼のお便りと、子供たちの写真が送られてきました。

「これからも珠算を通して、子供たちが自信を持ちいろいろなことにチャレンジし、南三陸に明るいニュースを提供していきたいと思います。皆様、本当にありがとうございます」（平成28年10月、育英学院・生駒文男様のお礼状から抜粋）。

育英学院様は震災の年の秋からホテル観洋様と連携され、無料で被災地の3歳から17歳までの子供たちの学習支援をされています。今後とも震災を風化させることなく、支援を継続していきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。（萬福寺一同）

元気に珠算に取り組む子供たち

昨年9月の県大会で個人総合優勝した育英学院の久保田さん（高校生＝写真左）

ホテル観洋の女将・阿部憲子様（写真左）から育英学院・生駒文男様に萬福寺からの寄付金が手渡されました